

CDPサプライヤートレーニング： 気候変動

ご参加ありがとうございます。
開始時刻まで今しばらくお待ちください。

2025年7月11日(金)

開始 15:00 終了予定 16:00

※本ウェビナーの無断録画・録音・掲載は禁止しております。
※本ウェビナーは録画されており、後日CDPウェブサイトでは資料・録画を一般公開する予定です。
※ご質問は、Q&A機能をご利用ください。



CDPサプライヤートレーニング： 気候変動

サプライヤーサポートトレーニング

2025年7月11日

留意事項

- 本ウェビナーの無断録画・録音・掲載は禁止しております。
- 本ウェビナーは録画されており、後日CDPウェブサイトでも資料・録画を公開する予定です。
- ご質問は、Q&A機能をご利用ください。時間の許す限り回答いたします。



アジェンダ

CDPの活動概要と気候変動について開示する理由

2025年CDP質問書

気候変動目標に関する質問

回答開始準備と主なリソース



CDPについて

CDPは、世界の環境情報開示システムを運営する
世界的な非営利団体です



640+

127兆米ドルの資産を持つ投資家



250+

購買組織(サプライチェーンメンバー)



24,800+

世界の時価総額の3分の2に相当する
開示企業



1,000+

都市、州、地域が情報開示



CDPサプライチェーン・メンバーシップ

複数のステークホルダーとニーズに対する1回の対応



サプライチェーンメンバー

- 主要なサプライヤーを特定して依頼します
- データを効率的に取得し、報告の負担を軽減します
- 開示されたデータを使用して、サプライヤーの環境影響を測定し、進捗状況を追跡します

サプライヤー

- 要求されたサプライヤーは定性的および定量的データを開示します
- サプライヤーは、フィードバックとその結果の行動に基づいて対応を改善します



なぜ気候変動の 情報開示をするのか？

影響、依存、リスクと機会の概要、および行動の経済的ケース



気候変動の情報開示はなぜ必要か

\$4tn 2030年までに約620兆円のアセットが、リスクに直面する

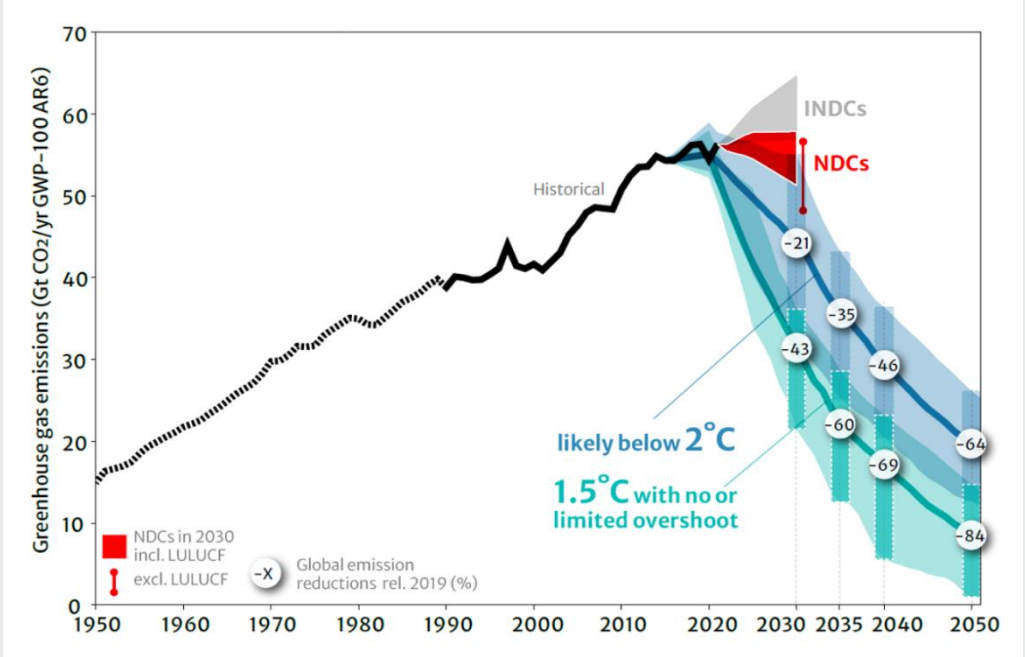


Figure: UN 2023. Technical Dialogue of First Global Stocktake.

\$53bn 回答企業が認識している機会
は8兆円を超える

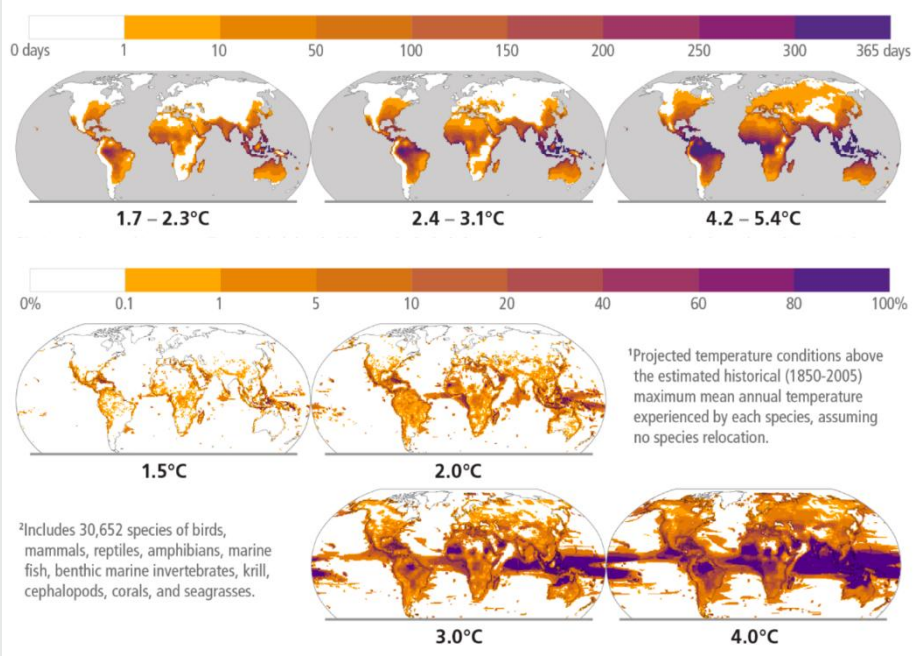


Figure: IPCC 2022. Mitigation of Climate Change, 6th AR.



サプライチェーン開示のインパクト

サプライヤーとして、顧客企業に環境情報を開示することはお客様にとって重要です。
サプライチェーンは、大規模な環境影響のドミノ効果を生み出します。
これは、サプライヤーが集合的に参加できるものです。



CDPを通じて開示する企業は、わずか2年以内に直接排出量を**7-10%**削減できる可能性がある。これは、CDP開示が単なる情報入力の作業ではないことを示している。



SBT目標設定について購買企業からサポートを受けたサプライヤーは、そのようなサポートを受けていないサプライヤーと比較して、目標設定する可能性が**2.6倍**高い。



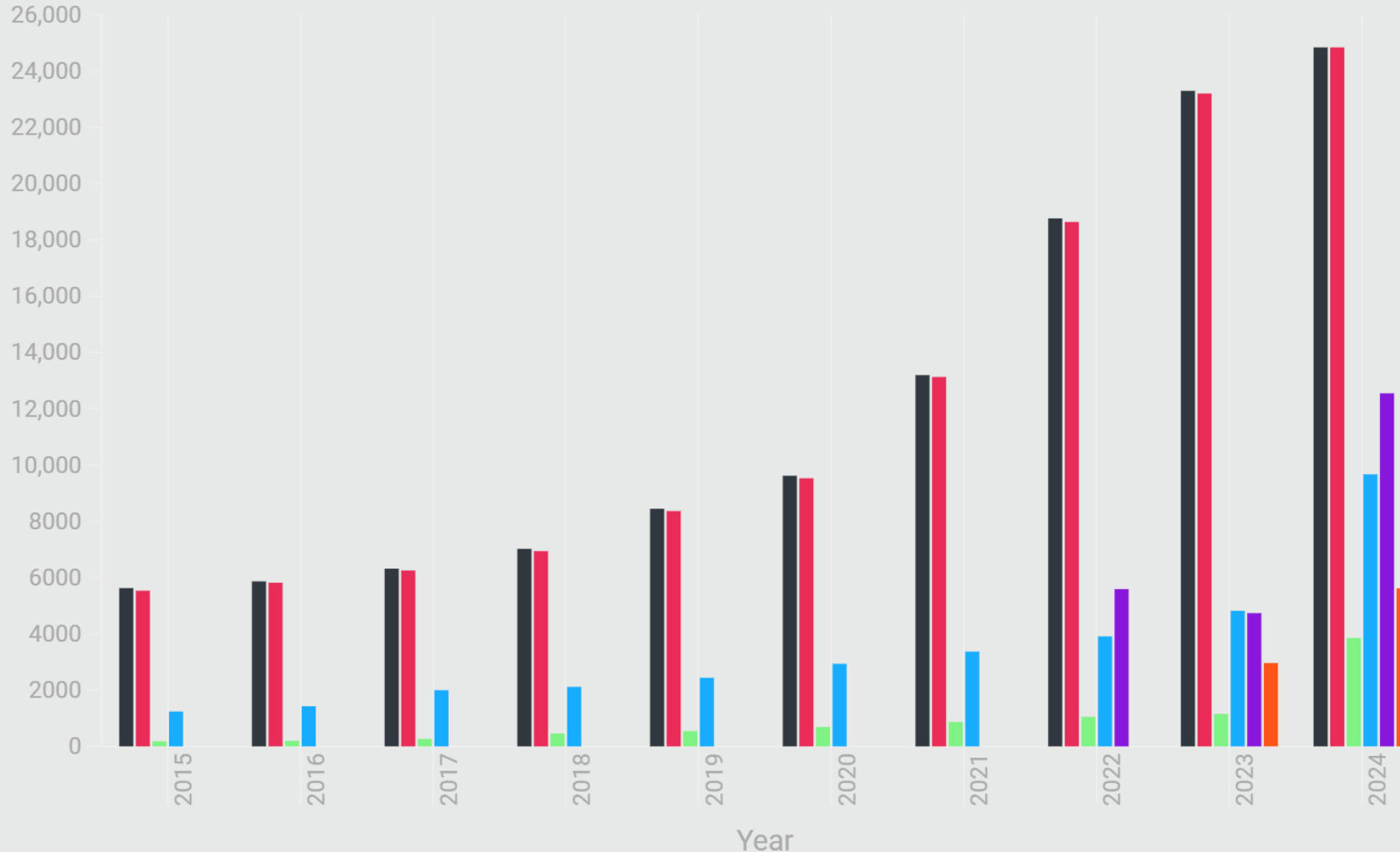
年々、CDPの開示企業は環境対策を講じる傾向が高まり、3回目の開示企業の**69%**が排出量削減のイニシアチブをとっているのに対し、初回開示企業は38%となっている。



CDPを通じて環境情報開示をビジネスの常識に



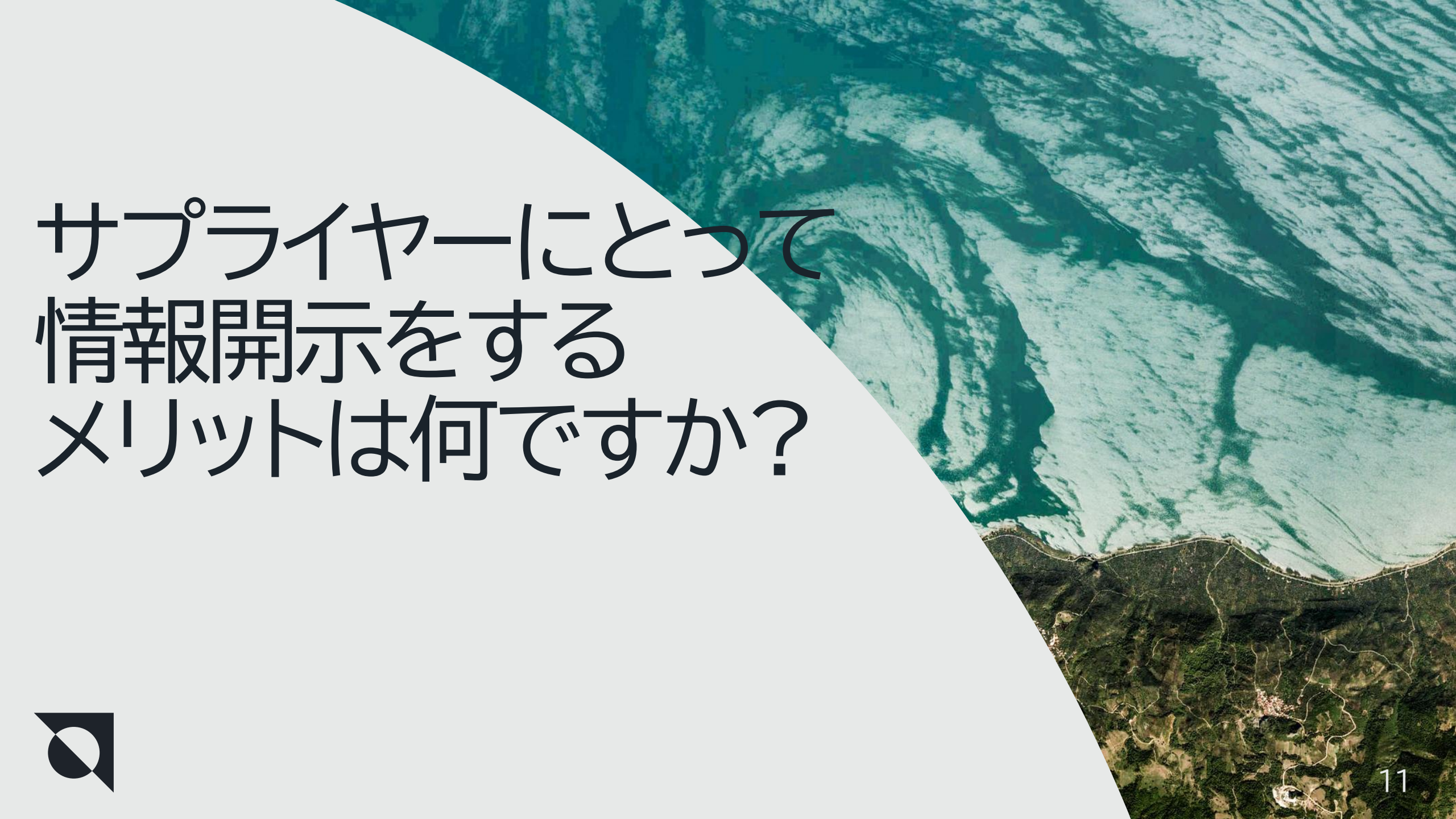
■ Total disclosing companies ■ Climate change ■ Forests ■ Water security ■ Biodiversity ■ Plastics



2024年、世界時価総額の3分の2に相当する
24,800以上の企業が
開示

2022年から**33%**増、
2023年からは7%増

7,550以上の企業が
2023年に初めて
情報開示の道を進み
始めた



サプライヤーにとって
情報開示をする
メリットは何ですか？



ビジネスにおける情報開示の必要性



資本へのアクセス
リスクと機会の定量化

年間支出6.4兆米ドルの
250以上の購買組織が、
CDPサプライヤーデータ
を調達決定に利用してい
ます



**ビジネスの競争力強化と
購買企業へのアクセス**
調達との関係構築リスクを管
理し、機会を最大化

カーボンフットプリントの管理
を改善することで、資源消費
の削減、廃棄物の削減、業務効
率の向上などが実現され、コ
スト削減につながります



コンプライアンス
義務に基づくまたは自主
的な開示

CDPの情報開示プラッ
トホームでは、必要情報
との整合性を常に更新



世界の重要な開示基準との整合

CDPIは、これらの基準を組織が実際に活用できる形に変換します。つまり、回答・実行すべき質問やデータポイントとして提示し、それらの高品質なデータを、1つのデータセットとしてステークホルダーや市場に共有します

整合済



気候変動に関するガバナンス、戦略、リスクと機会の管理、指標と目標について、企業が報告すべき内容を規定



GREENHOUSE GAS PROTOCOL

GHG排出量の算定・報告ための国際基準



気候関連財務情報開示タスクフォース



整合の推進



CSRDの情報開示基準ESRSを作成した組織
ESRS E1とは大部分で整合済
公式なパートナーシップを通じて、完全整合に向けて取り組み中



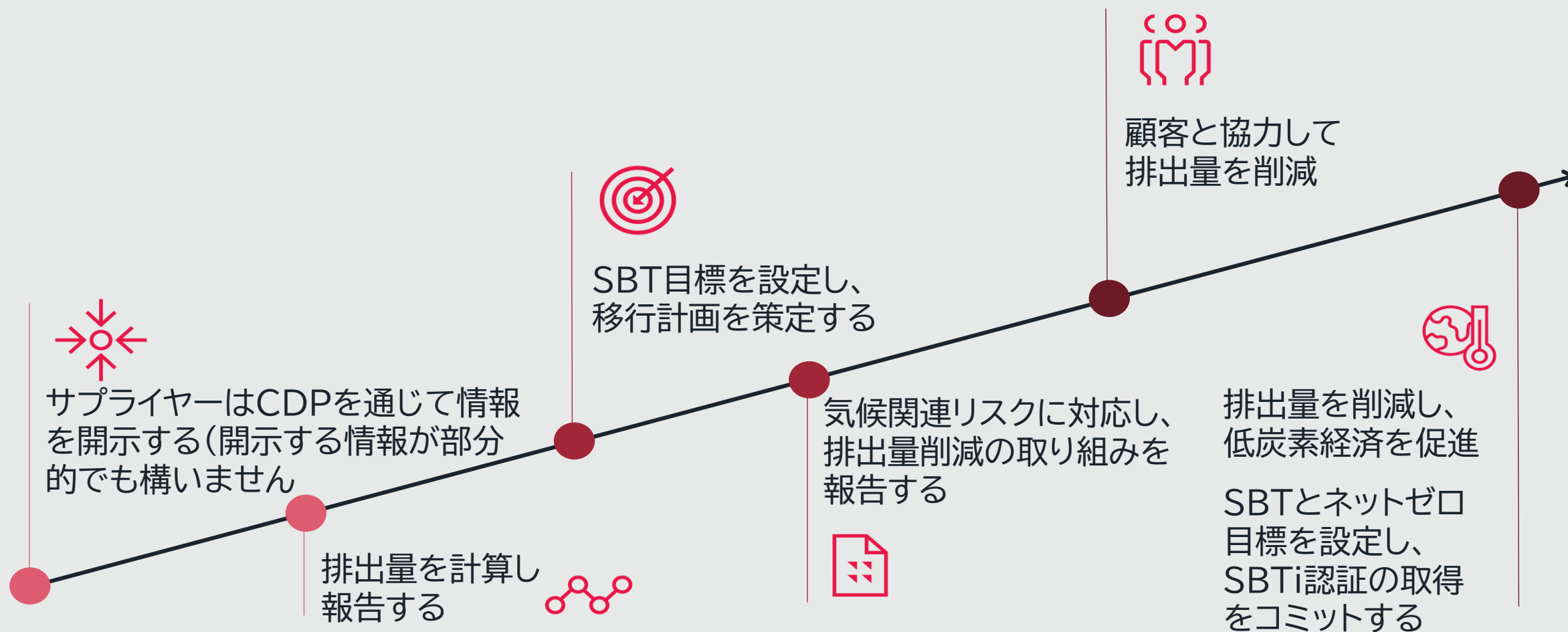
報告主体が経済、環境、社会に与えるインパクトを報告し、持続可能な発展への貢献を説明するためのフレームワークを提供



自関連財務情報開示タスクフォース
TNFDの開示推奨事項に部分的に整合済、完全整合に向けて取り組み中



サプライヤー開示のロードマップの例



フェーズ1:基盤の確立

フェーズ2:能力構築

フェーズ3:パフォーマンスの向上

アジェンダ

CDPの活動概要と気候変動について開示する理由

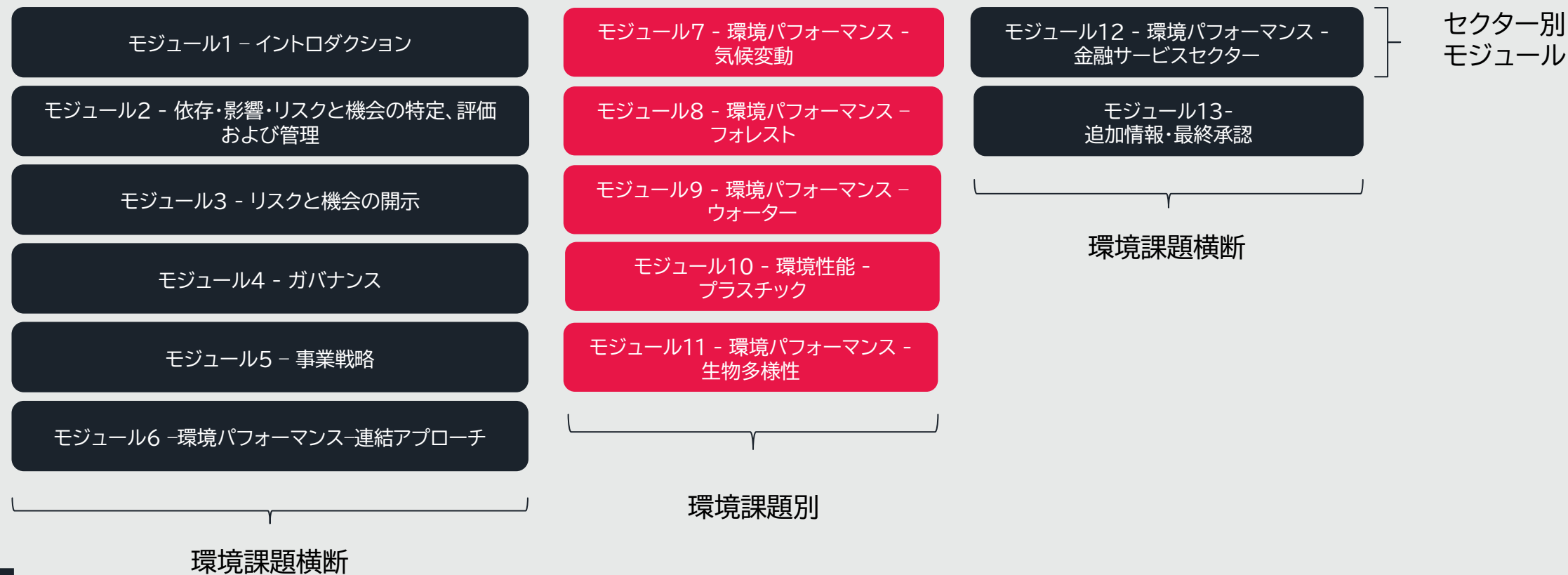
2025年CDP質問書

気候変動目標に関する質問

回答開始準備と主なリソース



完全版質問書



SME(中小企業)の開示について

- CDPは、2024年に中小企業向けのSME版質問書を導入しました。これにより、中小企業がどこに注意を向け、能力を高め、行動すべきかを理解しやすくなります。
- CDPの気候に焦点を当てたSME版質問書は、質問数が少なく、フォーマットが簡素化され、ガイダンスが強化されているため、中小企業のリソースと一致しています。
- 従業員が500人未満で売上<50万米ドルの場合、SME版質問書の回答が推奨されます。

SMEの開示に特化したサプライヤー向けウェビナー
はこちらよりご確認ください

モジュール14: イントロダクション

モジュール15: 依存、影響、リスクと機会の特定、評価、管理

Module 16: リスクと機会の開示

Module 17: ガバナンス

Module 18: 事業戦略

Module 19: 環境パフォーマンス - 連結アプローチ

Module 20: 環境パフォーマンス - 気候変動

Module 21: 追加情報・最終承認

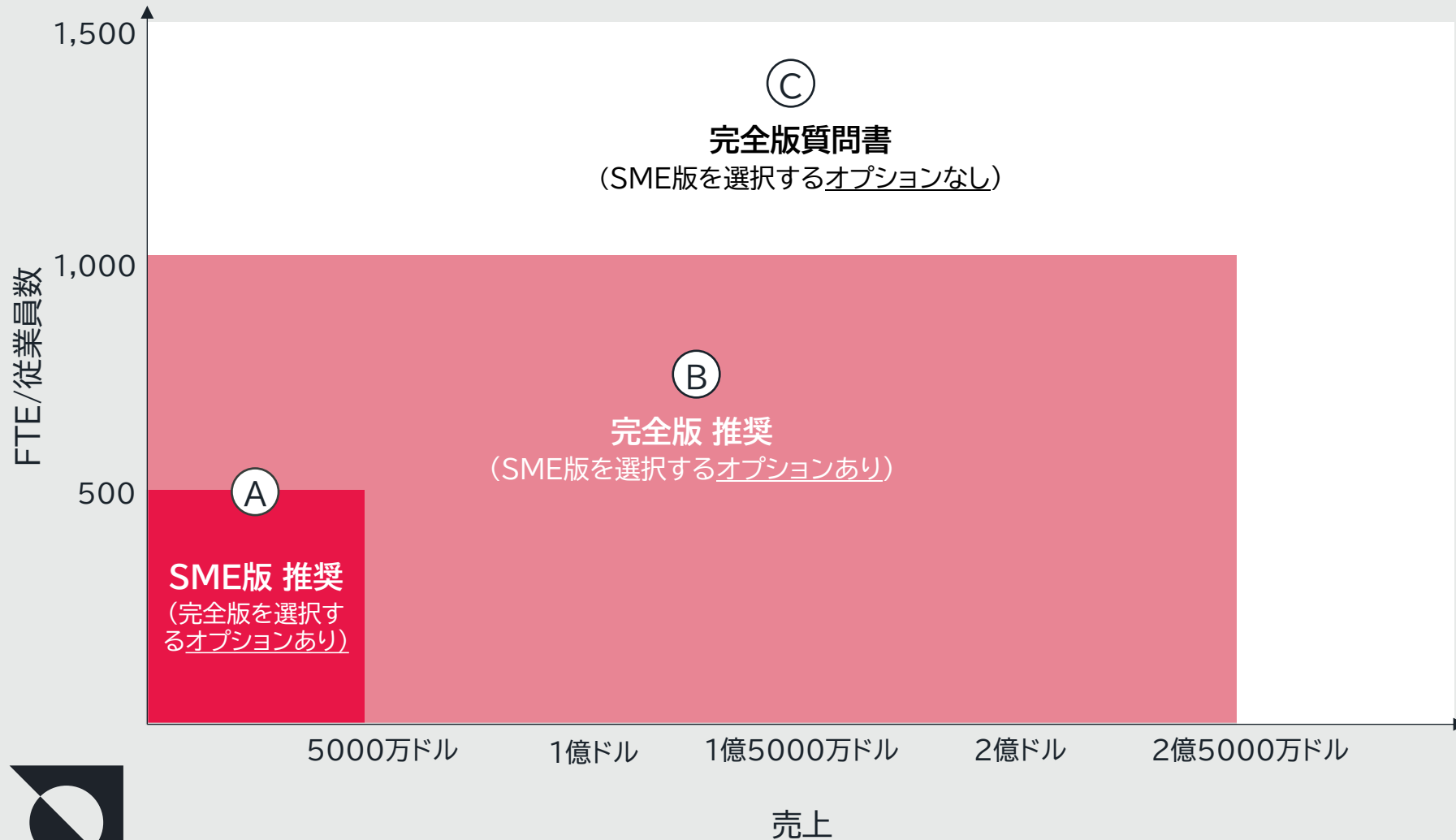
統合モジュール

気候変動
モジュール

統合モジュール



中小企業の開示基準と選択肢



閾値:

- ① **SME推奨**(オプションで完全版を選択可能):従業員数が500人未満、かつ売上高が5,000万米ドル未満の場合。
- ② **完全版推奨**(オプションでSME版を選択可能):従業員数が500人未満かつ 売上高が5,000万米ドル～2億5,000万米ドル **OR** 従業員数が500～1,000人 かつ 売上高が2億5,000万米ドル未満。
完全版(SME版を選択するオプションはない): 従業員数が1,000人を超えるか、売上高が2億5,000万米ドルを超える場合。
- ③



環境課題の割り当てについて

環境課題		開示の対象となる組織
	気候変動	全開示組織
	プラスチックと生物多様性	完全版コーポレート質問書に回答した全開示組織 (中小企業版の質問書に回答する企業および公的機関を除く)
	フォレスト	以下のいずれかに該当する場合、企業はフォレストor ウォーターに関する開示対象となります (中小企業の場合、1a、2、4のみ適用): CDPのフォレスト／ウォーター分野への影響分類 - 署名金融機関からの要請を受けている組織: サンプル(要請対象)設定の際に割り当てられる - 署名金融機関からの要請を受けていない組織: 質問書セットアップの際に割り当てられる 回答要請機関(e.g. CDPサプライチェーンメンバーなど)から、フォレスト/ウォーターに関する情報開示を要請されている場合 自己評価: フォレスト/ウォーターに関して、依存関係・影響・リスク・機会のいずれかがあると認識している場合 - フォレスト/ウォーターに関する開示に自主的に参加(オプトイン)している場合
	ウォーター	



2025年開示スケジュール



準備期間

開示期間

知見へのアクセス

3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月

4月30日
CDPポータルが
開示依頼者向けに
オープン

6月18日
CDPポータルが開示企
業向けにオープン

9月15日の週
スコアリング対象期限

11月17日の週
スコアリング対象外
提出期限

年末までに
スコアリリース予定

最新のタイムラインは<https://www.cdp.net/ja/disclosure-2025>をご確認ください

アジェンダ

CDPの活動概要と気候変動について開示する理由

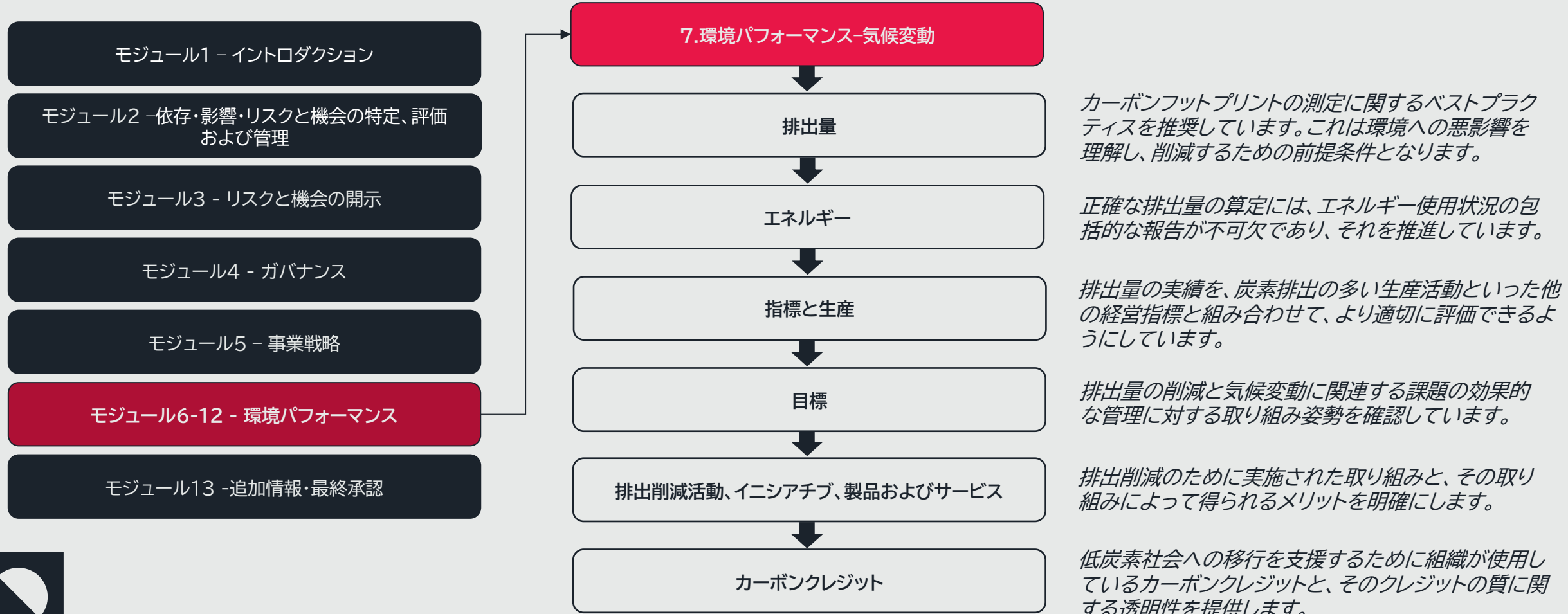
2025年CDP質問書

気候変動に関する質問

回答開始準備と主なリソース



モジュール7:環境パフォーマンス - 気候変動



気候変動に関する質問

貴組織の能力を最大限に活かし、CDPへの情報開示をご検討ください。可能な限り、完全版質問書へのご回答およびその公開をご検討ください

すべての質問への回答が難しい場合でも、次のポイントに重点を置いてご対応ください。

1. 排出量データ(スコープ1、2、3、検証含む)
2. 排出量配分
3. 排出削減目標
4. サプライチェーンメンバー向けの質問

2024年質問書モジュール

1(14 SME)イントロダクション

2(15 SME) 依存・影響・リスクと機会の特定、評価 および管理

3(16 SME)リスクと機会の開示

4(17 SME)ガバナンス

5(18 SME)事業戦略

6(19 SME)環境パフォーマンス:連結アプローチ

7(20 SME)環境パフォーマンス-気候変動

8 環境パフォーマンス - フォレスト

9 環境パフォーマンス-ウォーター

10 環境パフォーマンス-プラスチック

11 環境パフォーマンス-生物多様性

12 環境パフォーマンス-金融サービスセクター

13(21 SME)追加情報・最終承認

排出量算定について



事業活動に伴う排出量

スコープ1:

報告企業が直接排出する温室効果ガス

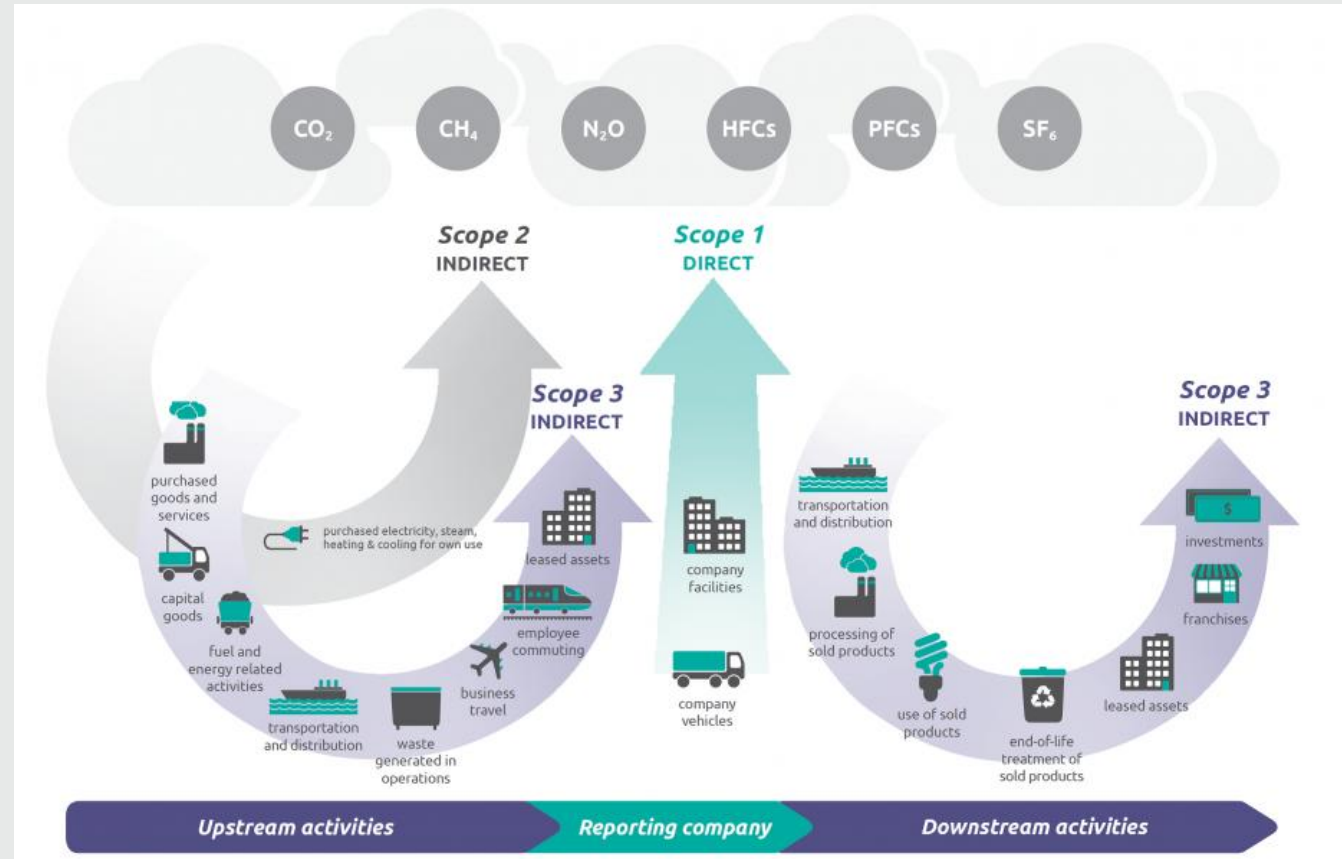
スコープ2:

報告企業のエネルギー使用により他者が排出する温室効果ガス

バリューチェーン上の排出量

スコープ3:

上流(サプライチェーン)と下流(製品の使用)の両方の排出を含む、報告企業のバリューチェーンで発生するすべての間接的なGHG排出(スコープ2には含まれません)。



- 「購入した商品やサービスからの排出」は、スコープ3の主要なカテゴリーの1つです。
- サプライヤーのスコープ1および2は、顧客企業のスコープ3に該当します。
- バリューチェーンの排出量(スコープ3)は、多くの場合、企業にとって最大のGHG影響となります。

ポイント: 排出量データスコープ1



スコープ1とは、組織が管理または所有する排出源から発生する直接的な温室効果ガス（GHG）排出量を指します。

例:

- 電気、熱、蒸気を発生させるための燃料（ボイラー、炉など）の燃焼。
- 材料、製品、廃棄物、従業員の輸送のための燃料（トラック、自動車など）の燃焼。
- 化学物質および材料（セメント、アルミニウムなど）の製造または加工。
- 意図的または非意図的な放出による一時的な排出（例: 冷蔵または空調からのHFC排出、ガス輸送からのメタン漏れ）。

完全版
7.6

SME版
20.4

スコープ1排出量の算出方法

は、公表されている排出係数（DEFRAなど）を用いてCO₂換算した商用燃料（ガス、灯油など）の購入量に基づく直接測定を含む。

参考情報:

1. [GHGプロトコル企業会計および報告基準](#)
2. [GHGプロトコルツールと排出係数](#)
3. [スコープ1&2 GHGインベントリガイダンス](#)
4. [スコープ1トレーニング](#)
5. [EPA簡易排出量計算機](#)
6. [SME気候ハブ炭素計算機](#)
7. [GHG排出量算定（入門編） - 日本語](#)



ポイント: 排出量データ-スコープ2



スコープ2排出量とは、電気、蒸気、熱、または冷却の購入に関連する間接的なGHG排出量を指します。

例: 機械を操作するために購入した電気、照明、電気自動車の充電など。

完全版
7.7

SME版
20.5



スコープ2排出量の算出方法としてGHGプロトコルでは、活動量データ(例: 電力消費量のMWh)に供給元固有の排出係数を乗じて、電力使用によるGHG排出量を把握することを推奨しています。活動量データを特定するには、電力量がMWhまたはkWh単位で明記された電気の使用量の計測値や公共料金の請求書が、最も正確な活動量データを提供します。

参考情報:

1. [CDPテクニカルノート: スコープ2排出量の算定](#)
2. [GHGプロトコルスコープ2ガイダンス](#)
3. [スコープ2トレーニング](#)
4. [EPA簡易排出量計算機](#)
5. [スコープ1&2 GHGインベントリガイダンス](#)
6. [GHG排出量算定 \(入門編\) - 日本語](#)

ポイント:排出量データ-スコープ3

スコープ3、バリューチェーン排出量 - 事業に関連して発生するが、所有または管理していない排出源からの他のすべての排出量。

例:

購入した商品とサービス、輸送と流通、および販売された製品の使用

完全版
7.8

SME版
20.7

スコープ3排出量の算定方法として、GHGプロトコルは、企業の事業活動の上流および下流における15の活動カテゴリーを含むScope 3スタンダードを提供しています。関連するすべての計算方法に関する詳細な技術的ガイダンスは、スコープ3基準の補足文書であるスコープ3計算ガイダンスに記載されています。

参考情報:

1. [CDPテクニカルノート:スコープ3](#)
2. [温室効果ガスプロトコル企業バリューチェーン\(スコープ3\)の会計および報告基準](#)
3. [温室効果ガスプロトコルスコープ3計算ガイダンス](#)
4. [ウェビナー:スコープ3の影響を計算して削減する方法](#)
5. [Scope3排出量とは | グリーン・バリューチェーンプラットフォーム | 環境省](#)
6. [GHG排出量算定\(入門編\) - 日本語](#)

ポイント: 検証



CDPは、検証/保証を、GHG排出量データの検証/保証を行うために認定された独立した第三者によって実施されるプロセスと考えています。

完全版
7.9

SME版
20.8



検証が重要な理由:

- 内部プロセスの改善
- ステークホルダー(顧客、投資家など)に対するデータの信頼性の向上
- リスクと機会の特定
- 評価の向上、競争優位性の獲得
- 規制および法令への整合(例:非財務報告)
- 運用上の排出量の正確な把握

このような理由から、CDPは環境報告におけるグッドプラクティスとして検証と保証を推奨しています。検証情報は、完全版質問書のスコアリング基準の中でも非常に重要です。

参考情報:

1. CDP検証ガイダンス
2. 気候データの第三者検証によるビジネス上のメリット:
3. 検証に関するFAQ

ポイント:排出量の内訳



内訳は、排出量、ひいてはビジネス全体のリスクと機会(将来の規制に関連するリスクなど)をよりよく理解する機会を顧客に提供します。

完全版 7.16、7.17、 7.20、7.23	SME版 20.10 20.11
--------------------------------	------------------------

自社がより広い企業グループの子会社である場合はどうなりますか？

- ベストプラクティス:子会社のデータはCDPに対する親組織の回答に含まれているため、子会社は回答する必要はありません。
- 子会社組織が親会社の報告境界に含まれていない場合、CDPに別途開示することが望まれます。
- 正しい開示を確実にするためには、その関係をCDPのシステムに反映させ、正しくマッピングする必要があります。

ヒント:

親会社が開示の責任を負う場合は、親会社の担当者に連絡して、排出量の内訳を詳しく説明してください。



ポイント:排出原単位



原単位算定は、組織のCO₂e排出量を別のビジネス指標との関連で示します。
このようにして、排出量は事業の成長を考慮して正規化されます。貴社の排出原単位の数値により、顧客は業界内および業界間で貴社のパフォーマンスをベンチマークすることができます。

完全版 7.45	SME版 20.17
-------------	---------------



排出原単位は、CO₂e排出量の数値(分子)を別のビジネス指標(分母)で割って計算されます。例:

- 売上
- フルタイム換算従業員数(FTE)
- 生産単位
- トン、メートル、リットル、またはその他の生産指標

ヒント:

1. 売上単位あたりの排出原単位は、排出原単位を計算する最も一般的で簡単な方法の1つです。そのため、この数値を提供するよう求められます。
2. 売上の数値が、排出量データと同じ組織境界を参照していることを確認してください。
3. 通貨と測定単位が正しいことを確認してください。



ポイント：排出原単位算出の例

完全版
7.45

SME版
20.16

売上を用いた排出原単位の計算式

$$\text{GHG排出原単位 (MT CO}_2\text{e / 年間総売上)} = \frac{(\text{スコープ1総排出量}) + (\text{スコープ2総排出量})}{(\text{年間総売上})}$$

売上を使用して排出原単位を計算するための例

$$0,06 \text{ MT CO}_2\text{e / 円} = \frac{300,000 \text{ メートルトンCO}_2\text{e}}{5,000,000 \text{ 円}}$$

ポイント:排出量の割り当て



GHG排出量を顧客に割り当てることで、報告期間中に顧客に販売された商品や製品に関連する排出量を明確にすることができます。また、割り当てることで、以下の点において、役立ちます。

- サプライチェーン排出量のより良いモデル
- 目標に向けた進捗への貢献度を評価する
- コラボレーションの機会を特定し、優先順位を付ける

完全版
7.26

SME版
20.4



GHG排出量を割り当てる際に考慮すべきデータポイント

- 排出範囲(例:スコープ1/スコープ2/スコープ3)
- 割り当てレベル(例:施設/ビジネスユニット/全社)
- CO2eのトンでの排出量
- 割り当て方法(例:収益/市場価値または商品の数量/その他の物理的要因に基づく配分)
- 検証

参考情報:

1. ウェビナー:[Allocating emissions](#)
2. [GHGプロトコルスコープ3会計基準第8章](#)

顧客企業から要請を受けた場合にのみ表示される質問に対する回答は、CDPの回答を非公開にするか公開にするかにかかわらず、顧客企業のみに表示されます。

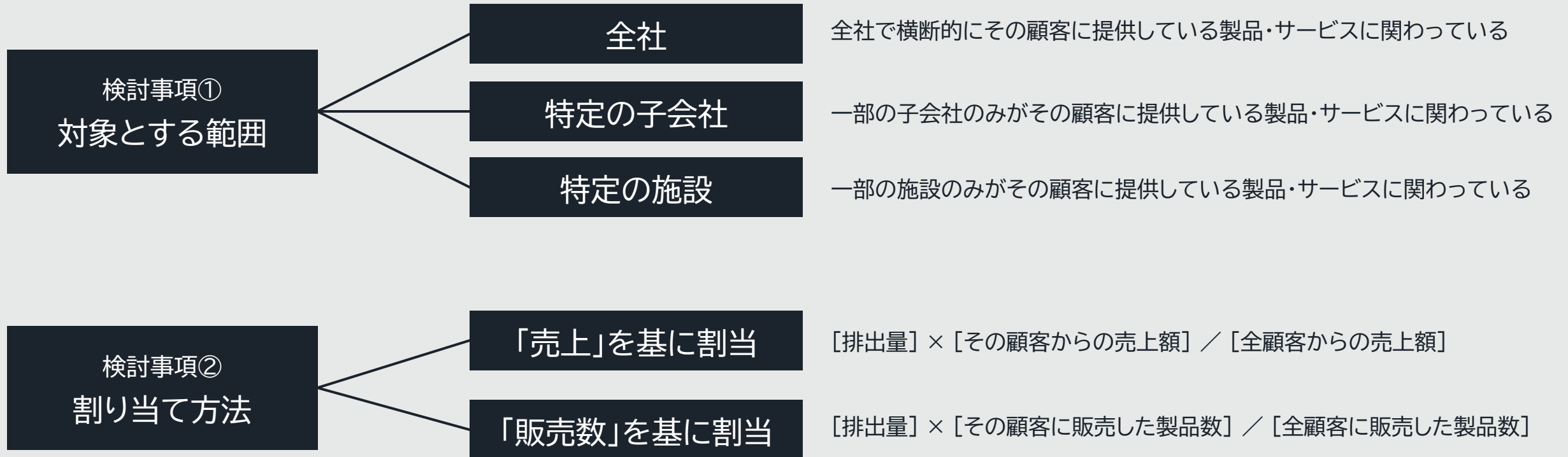


ポイント:排出量の割り当て

完全版
7.26

SME版
20.4

顧客企業への排出量の割り当てには、様々なアプローチがあります



※ こちらでは主要な手法を示しており、これ以外の手法が認められないということではございません。

売上額による排出量割り当ての計算式

完全版
7.26

SME版
20.4



貴社の売上額に対して、顧客が占める割合(取引額)に基づいて分配します

取引額に基づいて顧客に排出量を割り当てるための計算式

$$\text{温室効果ガス排出量の割り当て} = \frac{\text{要請元顧客との取引額}}{\text{総売上額}} \times \text{スコープ1またはスコープ2の総温室効果ガス排出量}$$

取引額に基づいて顧客に排出量を割り当てる例

$$\text{要請元への割り当て250トンのCO2} = \frac{\text{要請元顧客との取引額50万USD}}{\text{総売上額2億USD}} \times \text{10万トンのCO2 (全社スコープ1温室効果ガス排出量)}$$



ポイント:排出削減目標



目標設定は、排出削減に取り組む意向を示し、環境戦略の方向性と構造を提供します。



完全版
7.53

SME版
20.16

排出削減目標の構成要素:

- 対象タイプ:
 - 総量(トンCO₂e)
 - 原単位(活動単位あたりのCO₂eトン)
- 基準年
- 目標年度
- 対象範囲(スコープ)
- 基準年からの目標削減量(%)またはMt CO₂e

※日付を入力する欄について、年度単位で目標を立てている場合には、その年度の「終わりの日付」をご入力ください。

ベストプラクティス:

- パリ協定の目標を達成するために必要な最新の気候科学に沿った目標を設定する(地球温暖化を産業革命以前のレベルより2°Cをはるかに下回る程度に抑え、1.5°Cに抑える努力を追求する)。
- 詳しくは on [SBTi website](#) をご覧ください。35

SBTi 参考情報

～SBTi目標の設定～

以下を含む各種資料の完全な一覧については、SBTiの[リソースウェブページ](#)をご参照ください。

- [SBTi目標の検証手続き](#)
- 短期SBTi [基準および推奨事項 \(V5.2\)](#)
- SBTi [基準評価指標](#)
- [SBTi目標設定ツール](#) to model near-term SBTs
- [SBTi コーポレート・ネットゼロ・スタンダード](#)
- SBTi [バリデーション・ポータル](#)



ポイント: エネルギー



再生可能エネルギーの使用状況を報告することで、顧客はサプライヤーの排出量の削減を追跡し、化石燃料への依存度に関連するリスクのレベルを評価することができます。

再生可能エネルギーとは、風力、太陽光、水力、地熱、持続可能なバイオマス、海洋(潮力および波力エネルギー)など、枯渇しない資源から得られるエネルギーです。

化石燃料に由来している廃エネルギーや水素は含まれません。

完全版
7.30

SME版
20.15



方法論:

- すべてのエネルギーデータをメガワット時(MWh)で入力する必要があります。生データがギガジュール(GJ)や英国熱量単位(Btu)など、MWh以外のエネルギー単位である場合は、MWhに変換する必要があります。
- 他のエネルギー単位の換算係数は、IEAやOnlineConversion.comなどのさまざまなオンライン計算ツール、またはEPA AP-42(付録A)などの換算表から入手できます。

参考情報:

- CDPウェビナー: 再生可能エネルギーの100%達成と取引先に広げる企業の取り組みについて
- CDPテクニカルノート: 燃料データをMWh(メガワット時)に換算する方法

アジェンダ

CDPの活動概要と気候変動について開示する理由

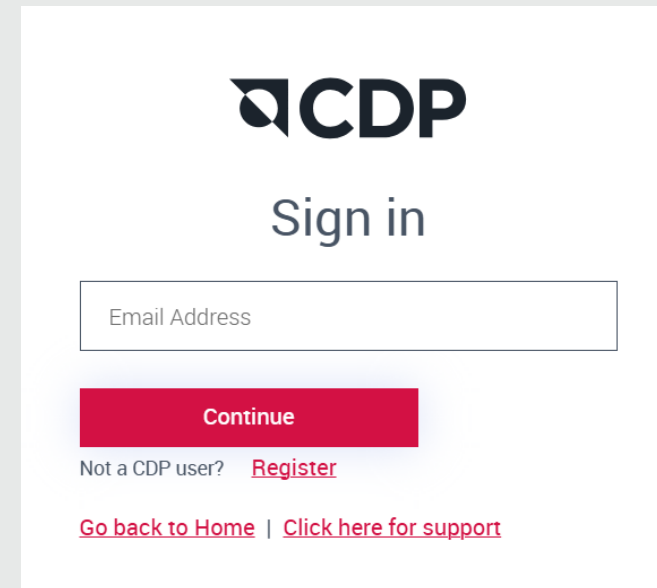
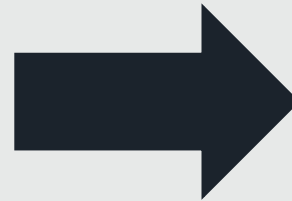
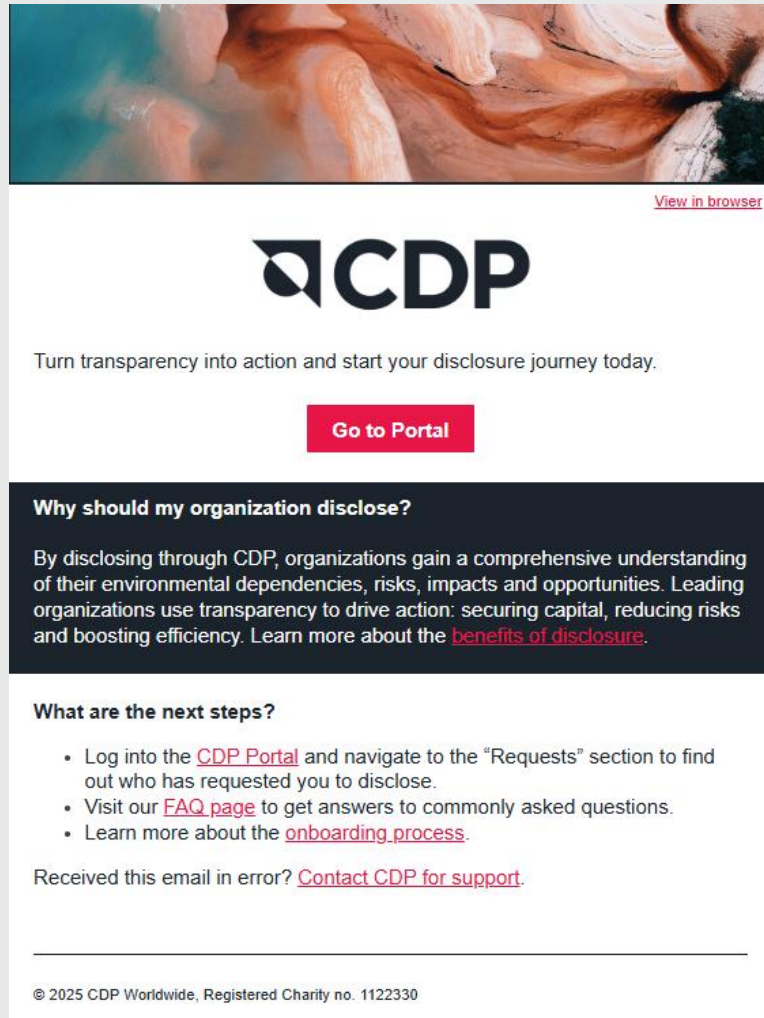
2025年CDP質問書

気候変動目標に関する質問

回答開始準備と主なリソース



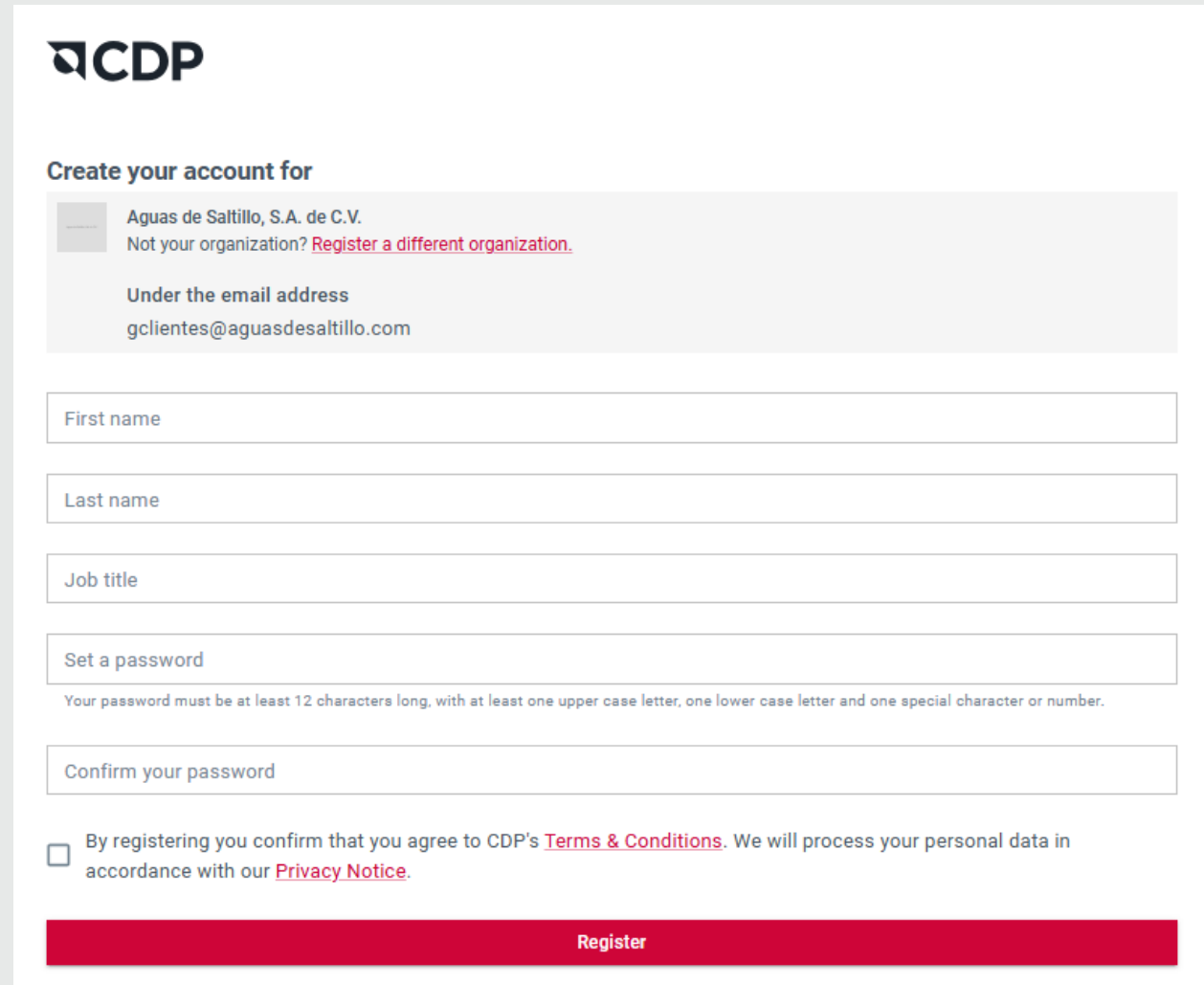
すでにCDPに登録されている場合:ルート1 myportal.cdp.netにログインするためのメール



CDPへの連絡先登録方法:ルート2

アクティベーションリンク

- ・ 顧客から、ユーザー名とパスワードを設定するためのカスタマイズされた登録リンクが送付される場合がございます
- ・ ご登録手続きが完了次第、確認メールが送信されますので、ご確認ください
- ・ メールの案内に従って、myportal.cdp.net にアクセスし、ユーザー名とパスワードでログインしてください



The screenshot shows the CDP account registration page. At the top is the CDP logo. Below it is the heading "Create your account for". There is a section for organization details with a placeholder for a logo, the text "Aguas de Saltillo, S.A. de C.V.", and a link "Not your organization? Register a different organization.". Below this is the email address "gclientes@aguasdesaltillo.com". The form consists of several input fields: "First name", "Last name", "Job title", "Set a password" (with a note: "Your password must be at least 12 characters long, with at least one upper case letter, one lower case letter and one special character or number."), and "Confirm your password". At the bottom, there is a checkbox for agreeing to the terms and conditions, followed by a red "Register" button.

CDP

Create your account for

 Aguas de Saltillo, S.A. de C.V.
Not your organization? [Register a different organization.](#)

Under the email address
gclientes@aguasdesaltillo.com

First name

Last name

Job title

Set a password

Your password must be at least 12 characters long, with at least one upper case letter, one lower case letter and one special character or number.

Confirm your password

☐ By registering you confirm that you agree to CDP's [Terms & Conditions](#). We will process your personal data in accordance with our [Privacy Notice](#).

Register

CDPに連絡先を登録する:ルート3

開示登録フォーム

Register to disclose

Thank you for taking the first steps to start your disclosure through CDP.

You should complete this form if your organization is disclosing through CDP for the **first-time** and require access to the CDP Portal to start your disclosure.

If you have colleagues with access to the CDP Portal, we encourage you to contact them instead, to assist with adding you to your organization's CDP Portal account directly.

Please complete this form in English as best as you can to ensure you are accurately matched to your organization.

Please select your purpose for this registration:



My customer(s) and/or CDP Capital Market signatories have requested my organization to disclose through CDP

My organization has not been formally requested to disclose by anyone but would like to disclose through CDP independently

I am part of a City, State or Region that would like to disclose through CDP

Find out more about [CDP Disclosure Requests](#)

登録開示手順

CDPに連絡先を登録する:ルート3

開示登録フォーム



CDP [ホーム](#) | [ナレッジベース](#) | [検索](#) | [日本語](#) ▼

顧客及び/もしくはCDPキャピタルマーケットズ署名金融機関によるCDP情報開示要請を受け取りました。

回答要請機関を選択ください。
複数機関からの要請がある場合、複数選択が可能です。

[Clear All](#)

個人情報
本詳細情報はCDPからのご連絡の際にも利用します。

名（英字表記）*

姓（英字表記）*

職場メールアドレス*

要請元である顧客のお名前
**正確に一致させるため、
要請依頼に記載された組織名
を正確に使用してください。

[リンク: 開示登録フォーム](#)

組織情報

以下の情報は、貴組織を特定する際に利用します。

組織検索 *

組織名または9桁のDUNS番号を入力して検索してください。

招待状で顧客が指定した組織名を正確に使用してください

組織名（正式な英字表記）

住所 1

組織の住所が正しいことを確認してください

住所 2

市区町村

郵便番号

国名 *

組織ウェブサイトURL *

CDPに連絡先を登録する:ルート3 開示登録フォーム



CDP

Knowledge Base | Q | English

Organizational details

We'll identify you by the following information:

Organization name:

Please search for the organization by its name or DUNS number:

Who has requested you to disclose? *

You may select more than one option if applicable:

Address Line 1: [Clear All](#)

Address Line 2:

City:

Zip/Postal Code:

Country of Origin:

Website address:

Personal details

We'll use these details to communicate with you.

First Name:

Last Name:

Email:

Confirming and protecting your data

☐ I confirm that all the information I entered above is correct and accurate.

☐ I consent to CDP processing my personal data in line with its [Privacy Notice](#).

[CONFIRM SUBMISSION](#)

- 要請元である顧客の組織と一致するものが見つからない場合には、組織名＋DUNS番号を明確にするため、顧客にご連絡ください。
- 提出後、CDPは最低5営業日かけて処理します。
- 手続きが完了すると、mail@cdp.net から、ポータルへのログインを設定するためのアクティベーション・リンクが記載されたEメールが届きます。

* 迷惑メールを確認し、mail@cdp.net が組織のIT部門によってホワイトリストに登録されていることを確認してください。

CDP ポータル & ホームページ

<https://myportal.cdp.net/>

The screenshot displays the 'Test Discloser' portal interface. At the top, there's a navigation bar with 'Test Discloser' and a link to 'Show organization details'. Below this is a progress bar indicating 'Questionnaire opens: 04/18/2025' and 'Phase 2 of 3'. The main section is titled 'Access your questionnaire' and includes instructions: 'Start here and complete these steps to get access to your questionnaire. Only the submission lead can submit the responses to these steps.' Two steps are listed: 1. Confirm Submission Lead and 2. Set up questionnaire. To the left, a notification states 'You have 1 new requests' with a link to 'View requests'. Below that, a section for 'Data products and reports' mentions 'See all your data products and disclosure data in CDP's legacy platform.' To the right, an 'Admin fee' section explains the fee structure and includes a warning 'You must select a fee' with a link to 'View fee options'. A sidebar on the right contains links for 'Need sug', 'Find how t', and a 'Guid' link. A red box highlights the two steps in the 'Access your questionnaire' section.

Test Discloser [Show organization details](#)

Respond [Questionnaire opens: 04/18/2025](#) Phase 2 of 3

Access your questionnaire

Start here and complete these steps to get access to your questionnaire.
Only the submission lead can submit the responses to these steps.

- 1 Confirm Submission Lead >
- 2 Set up questionnaire >

You have 1 new requests
1 organizations are requesting you to disclose through CDP. [View requests](#)

Data products and reports
See all your data products and disclosure data in CDP's legacy platform. >

Admin fee
All eligible organizations pay an admin fee to disclose through CDP. As a not-for-profit organization, we rely on funding from a range of sources. This fee helps us cover our costs so we can keep delivering our services at a global scale.
 You must select a fee [View fee options](#)

Access your questionnaire
Start here and complete these steps to get access to your questionnaire.
Only the submission lead can submit the responses to these steps.

- 1 Confirm Submission Lead >
- 2 Set up questionnaire >

質問書の入力を開始するには、これら2つのステップの完了が必須となります。

ベストプラクティス報告のためのヒント

- 空白セル、エラー、不整合を避ける
- 各質問について、可能な限りすべての評価基準(必須要件含む)を満たしていることを確認する
- 質問書内より、各質問のガイダンスを開けます
- 定性的な回答については、明確な説明、根拠、企業の具体的な対応を示すこと
- ステークホルダーへの働きかけと質問書回答のためにチームメイトを特定し、指名する



一般的なガイダンス & サポート

- オンライン・ディスクロージャーガイダンスは[こちら](#)をご覧ください。
- 情報開示の方法は[こちら](#)をご確認ください。
- 質問書/報告ガイダンス/スコアリング基準は[こちら](#)をご覧ください。

Questionnaire and reporting guidance 2025

Our focus on stability and core functionality delivery underpins the rationale for minimal changes to the questionnaire and scoring methodology in 2025 – as well as improved support available through detailed guidance and training for account managers.

Disclosers can prepare for the disclosure cycle by downloading PDF versions of our questionnaire and reporting guidance for 2025, below.

Translated versions of these documents will be available in May.



Companies

Questionnaire and guidance for those responding to the CDP Full Corporate questionnaire in 2025

[DOWNLOAD – MODULES 1 TO 6 \(PDF\)](#)

[DOWNLOAD – MODULE 7 \(PDF\)](#)

[DOWNLOAD – MODULES 8 TO 13 \(PDF\)](#)



Small and Medium Sized Enterprises (SMEs)

Questionnaire and guidance for those responding to the CDP SME Corporate questionnaire in 2025

[DOWNLOAD – MODULES 14 TO 21 \(PDF\)](#)



Cities, States and Regions

CDP-ICLEI Track questionnaire and guidance for those responding to either the CDP Cities questionnaire or States & Regions questionnaire in 2025

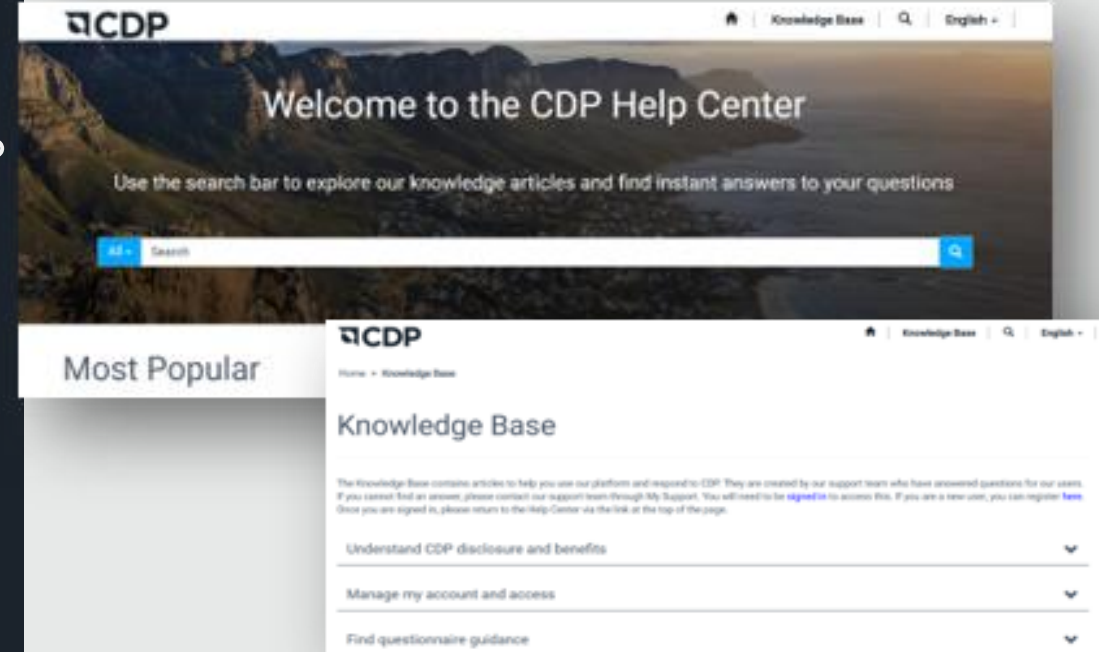
[DOWNLOAD \(PDF\)](#)



CDPヘルプセンター

- ナレッジベース: CDPプラットフォームの利用とCDP回答に役立つ記事が掲載されています。
- サポートチームへのお問い合わせ: ナレッジベースで回答が見つからない場合、マイポータルにサインインし、サポートチームにお問い合わせください。
- よくある質問

※CDPは多言語(英語、ポルトガル語、日本語、簡体字中国語、スペイン語)対応しておりますので、ご活用ください。



詳細情報、登録リンク、録画リンクについては、各ウェビナーのウェブページをご覧ください

サプライヤー・サポート・トレーニング

- その他のサプライヤー・サポート・トレーニングでは、以下のトピックを取り上げています：
 - 中小企業向け質問書(6月23日～27日)
 - 気候変動(7月7日～11日)
 - ウォーター(7月21～25日)
 - フォレスト(8月4日～8日)
- ※ GHG排出量算定（7月1日）[動画リンク](#)
- 言語： 英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、日本語、フランス語、ドイツ語
- 詳細情報、登録リンク、録画リンクについては、各トレーニングのウェブページをご覧ください

Region	Languages	Webinar webpage
Asia Pacific	英語、韓国語	Register here
China	中国語	Register here
Europe	英語、ドイツ語、フランス語	Register here
Japan	日本語	Register here
Latin America	ポルトガル語	Register here
Latin America	スペイン語	Register here
North America	英語	Register here
UK, Middle East and Africa	英語	Register here



参考資料集

2025年の情報開示のためのリソース

- [CDP2025開示サイクル - CDP](#)
- [企業情報開示 2025年の主な変更点](#)
- [2025質問書とガイダンス](#)
- [サポートに問い合わせる- CDPヘルプセンター](#)
- [よくある質問\(FAQ\) - CDP](#)
- [CDP炭素会計ウェビナー](#)
 - [スコープ1排出量トレーニング](#)
 - [スコープ2排出量トレーニング](#)
 - [2025年サプライヤーサポートトレーニング](#)

GHG排出量算定資源と科学的根拠に基づく目標

- [EPA温室効果ガス排出量計算機](#)
- [GHGプロトコル企業基準](#)
- [GHGプロトコル計算ツール](#)
- [科学的根拠に基づく目標に関するCDPテクニカルノート](#)
- [よくある質問-科学的根拠に基づく目標イニシアティブ](#)



スコアリング対象となる
回答提出×切
2025年9月15日の週





Q&A



よくある質問

- 質問書全体に回答できない場合はどうすればよいですか
 - CDPでは、まったく回答しないよりも、部分的な回答の提出を推奨しています。
 - 報告負担を軽減するためにも、お客様から指定された重要な質問に優先的に取り組んでください。
 - 初回の回答において完璧さは求められていません。できる限りの対応をしていただければ結構です。
- 回答事務費用を支払う必要がありますか
 - 2025年においては、顧客企業のみから依頼され、回答するサプライヤーは、回答事務費用を支払う必要はありません。
 - 一方で、CDPキャピタルマーケットツ署名機関からも情報開示を求められている場合には、回答事務費用のお支払いが必要となります。

詳細な説明については、CDPのウェブサイト「FAQs(よくあるご質問)」をご参照ください。



よくある質問

- 非英語圏の国に拠点がある場合でも、CDPはサポートしてくれますか
 - CDPには、サプライヤーがCDPの情報開示要請を理解できるよう支援するグローバルスタッフが在籍しています。現地でのサポートを依頼したり、各国で開催されるワークショップやウェビナーについて知りたい場合は、オンラインの多言語対応[CDPヘルプセンター](#)をご利用ください。
 - CDPはサプライヤーが質問書を記入する際の支援となる複数のガイダンス文書も作成しています。
- データ保護および機密性について懸念があります
 - サプライチェーンの質問で報告されたデータおよび情報は、依頼企業にのみ公開されます。他の企業はその情報にアクセスできません。
 - スコアは、顧客からの依頼のみに回答している場合、Aスコアを除き、公開・非公開の選択にかかわらず、決して公開されません。(Aスコアは公開されます。)
 - CDP質問書に関する利用規約は[こちら](#)でご覧いただけます。



An aerial photograph of a dense forest with trees in various shades of green, yellow, and orange, indicating autumn. A dark, winding road or path cuts through the forest. The image is partially obscured by a white diagonal line running from the top-left corner towards the bottom-right.

ご清聴ありがとうございました。

ご不明な点がございましたら、
CDPをご覧ください。

